

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ファブラリー えんぱーく
事業主体 (連絡先)	塩尻市 (塩尻市立図書館) (TEL: 0263-53-3365 / FAX: 0263-53-3369)
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	973,216 円 (うち支援金: 553,000 円)

### 事業内容

- (1) 3Dプリンターの設置・一般貸出 (10月～)  
利用件数 147 件
- (2) 3Dプリンター普及啓発デモンストレーションの実施 (8月～)
- (3) 3Dプリンター体験講座の実施 (8/10,11,17,18)  
小中学生を対象にした体験講座を開催した。
- (4) 3Dプリンタースキル講座の実施(3/5,19)  
一般の方を対象にしたスキル講座を開催した。
- (5) 利活用レファレンスの実施(通年)  
3Dプリンターの活用を検討されている利用者  
および企業からの相談や問い合わせに対応した。



【スキル講座の様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 企業・県民の利活用に関する相談支援
- ② 将来の地域産業を支える子ども達への教育支援

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

モノづくりに革命を起こすと言われていた 3D プリンターを、市民が最も多く訪れる施設に設置し貸し出しを実施。これとあわせて図書館のもつ大量の情報を活用したレファレンスを実施することで、企業の経営革新やイノベーションを図るとともに、将来の地域産業を支える新たな技術者の育成を図った。

貸し出し件数は当初の目標 (100 件) を上回る 147 件、各講座も申込み開始後 2,3 日で定員に達するなど注目の高さがうかがえた。企業からの相談なども数件寄せられるなど企業に対する支援も行うことができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3Dプリンターの利活用にあたっては、三次元データの作成スキルが必須となるが、利用者によって、スキルの習熟度合いが大きく異なることがわかった。このため、来年度は利用者に合わせて支援や情報提供を充実させることで利活用を図ることで利用者の支援ができればと考えている。

### ※自己評価 【B】

#### 【理由】

目標どおりの利用件数があったとともに、想定していなかった製造業者からの高度なレファレンスに対応できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある